



## **AWS**

### **NetApp Console setup and administration**

NetApp  
February 11, 2026

# 目次

AWS .....	1
NetApp Consoleの AWS 認証情報と権限について学習します .....	1
初期AWS認証情報 .....	1
追加のAWS認証情報 .....	1
資格情報とマーケットプレイスのサブスクリプション .....	3
FAQ .....	3
NetApp Consoleの AWS 認証情報とマーケットプレイス サブスクリプションを管理する .....	4
概要 .....	4
資格情報をローテーションする方法 .....	5
コンソールエージェントに追加の資格情報を追加する .....	5
コンソールエージェントを作成するためにコンソールに資格情報を追加します .....	7
Amazon FSx for ONTAPのコンソールに認証情報を追加する .....	9
AWSサブスクリプションを設定する .....	9
既存のサブスクリプションを組織に関連付ける .....	10
資格情報を編集する .....	14
資格情報を削除する .....	14

# AWS

## NetApp Consoleの AWS 認証情報と権限について学習します

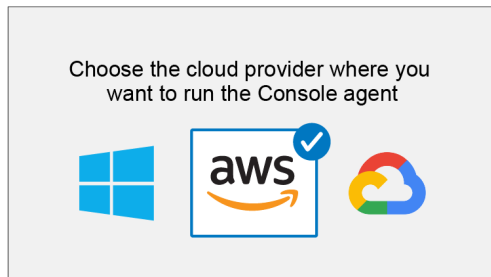
コンソールエージェントの導入時に適切な IAM 認証情報を提供し、課金のためにそれらを AWS Marketplace サブスクリプションに関連付けることで、NetApp Consoleから AWS 認証情報とマーケットプレイス サブスクリプションを直接管理し、Cloud Volumes ONTAPやその他のデータ サービスの安全な導入を確保します。

### 初期AWS認証情報

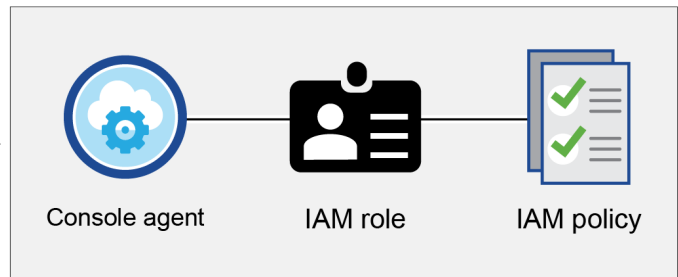
コンソールからコンソールエージェントをデプロイする場合は、IAM ロールの ARN または IAM ユーザーのアクセスキーを指定する必要があります。認証方法には、AWS にコンソールエージェントをデプロイするための権限が必要です。必要な権限は、"[AWS のエージェント展開ポリシー](#)"。

コンソールが AWS でコンソールエージェントを起動すると、エージェントの IAM ロールとプロファイルが作成されます。また、コンソールエージェントにその AWS アカウント内のリソースとプロセスを管理するための権限を付与するポリシーも添付します。"[エージェントが権限をどのように使用するか確認する](#)"。

#### NetApp Console



#### AWS account



新しいCloud Volumes ONTAPシステムを追加すると、コンソールはデフォルトで次の AWS 認証情報を選択します。

Details & Credentials			
Instance Profile		QA Subscription	<a href="#">Edit Credentials</a>
Credentials	Account ID	Marketplace Subscription	

初期の AWS 認証情報を使用してすべてのCloud Volumes ONTAPシステムを展開するか、追加の認証情報を追加することができます。

### 追加のAWS認証情報

次の場合には、コンソールに追加の AWS 認証情報を追加する必要があるかもしれません。

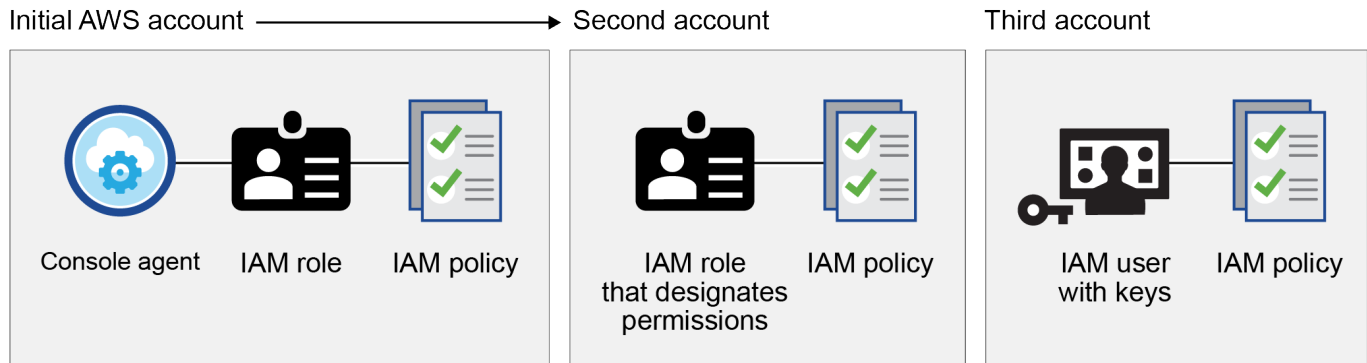
- 既存のコンソールエージェントを追加のAWSアカウントで使用するには
- 特定のAWSアカウントに新しいエージェントを作成するには

- FSx for ONTAPファイルシステムを作成および管理するには

詳細については、以下のセクションを確認してください。

別の **AWS** アカウントでコンソールエージェントを使用するには、**AWS** 認証情報を追加します。

追加の AWS アカウントでコンソールを使用するには、信頼できるアカウントの AWS キーまたはロールの ARN を指定します。次の図は、信頼できるアカウントの IAM ロールを通じて権限を提供するアカウントと、IAM ユーザーの AWS キーを通じて権限を提供するアカウントの 2 つの追加アカウントを示しています。



IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) または IAM ユーザーの AWS キーを指定して、コンソールにアカウント認証情報を追加します。

たとえば、新しい Cloud Volumes ONTAP システムを作成するときに、資格情報を切り替えることができます。

The screenshot shows the 'Edit Credentials & Add Subscription' dialog box. The 'Associate Subscription to Credentials' section is active. Under 'Credentials', there is a list with 'keys | Account ID:' selected. Below this list is a dropdown menu showing 'casaba QA subscription'. At the bottom of the dialog are 'Apply' and 'Cancel' buttons.

"既存のエージェントに AWS 認証情報を追加する方法を学びます。"

コンソールエージェントを作成するには**AWS**認証情報を追加します

AWS 認証情報を追加すると、コンソールエージェントを作成するための権限が付与されます。

["コンソールエージェントを作成するためにコンソールにAWS認証情報を追加する方法を学びます"](#)

**FSx for ONTAP**に **AWS** 認証情報を追加する

FSx for ONTAPシステムを作成および管理するために必要な権限を付与するには、コンソールに AWS 認証情報を追加します。

["Amazon FSx for ONTAPのコンソールに AWS 認証情報を追加する方法を学びます"](#)

## 資格情報とマーケットプレイスのサブスクリプション

Cloud Volumes ONTAPやその他のNetAppデータ サービスの料金を時間単位 (PAYGO) または年間契約で支払うには、コンソール エージェントに追加する認証情報を AWS Marketplace サブスクリプションに関連付ける必要があります。["AWSサブスクリプションに関連付ける方法を学ぶ"](#)。

AWS 認証情報とマーケットプレイスサブスクリプションについては、次の点に注意してください。

- AWS 認証情報のセットに関連付けることができるのは、1 つの AWS Marketplace サブスクリプションのみです。
- 既存のマーケットプレイスサブスクリプションを新しいサブスクリプションに置き換えることができます

## FAQ

次の質問は、資格情報とサブスクリプションに関連しています。

**AWS** 認証情報を安全にローテーションするにはどうすればよいですか？

上のセクションで説明したように、コンソールでは、コンソールエージェントに関連付けられた IAM ロール、信頼できるアカウントでの IAM ロールの引き受け、または AWS アクセスキーの提供など、いくつかの方法で AWS 認証情報を提供できます。

最初の 2 つのオプションでは、コンソールは AWS セキュリティ トークン サービスを使用して、常にローテーションする一時的な認証情報を取得します。このプロセスはベストプラクティスであり、自動かつ安全です。

コンソールに AWS アクセスキーを提供する場合は、コンソールで定期的にキーを更新してキーをローテーションする必要があります。これは完全に手動のプロセスです。

**Cloud Volumes ONTAP**システムの **AWS Marketplace** サブスクリプションを変更できますか？

はい、できます。認証情報セットに関連付けられている AWS Marketplace サブスクリプションを変更すると、既存および新規のすべてのCloud Volumes ONTAPシステムに新しいサブスクリプションの料金が課金されます。

["AWSサブスクリプションに関連付ける方法を学ぶ"](#)。

それぞれ異なるマーケットプレイスサブスクリプションを持つ複数の **AWS** 認証情報を追加できますか？

同じ AWS アカウントに属するすべての AWS 認証情報は、同じ AWS Marketplace サブスクリプションに関連付けられます。

異なる AWS アカウントに属する複数の AWS 認証情報がある場合、それらの認証情報は、同じ AWS Marketplace サブスクリプションまたは異なるサブスクリプションに関連付けることができます。

既存の **Cloud Volumes ONTAP** システムを別の **AWS** アカウントに移動できますか？

いいえ、Cloud Volumes ONTAP システムに関連付けられている AWS リソースを別の AWS アカウントに移動することはできません。

マーケットプレイスの展開とオンプレミスの展開では資格情報はどのように機能しますか？

上記のセクションでは、コンソールからのコンソール エージェントの推奨展開方法について説明しています。また、AWS Marketplace から AWS にエージェントを展開し、独自の Linux ホストまたは VCenter にコンソールエージェントソフトウェアを手動でインストールすることもできます。

Marketplace を使用する場合も、同様の方法で権限が提供されます。IAM ロールを手動で作成して設定し、追加のアカウントに権限を付与するだけです。

オンプレミス展開の場合、コンソールに IAM ロールを設定することはできませんが、AWS アクセスキーを使用して権限を付与することはできます。

権限の設定方法については、次のページを参照してください。

- 標準モード
  - ["AWS Marketplace デプロイメントの権限を設定する"](#)
  - ["オンプレミス展開の権限を設定する"](#)
- 制限モード
  - ["制限モードの権限を設定する"](#)

## NetApp Consoleの **AWS** 認証情報とマーケットプレイス サブスクリプションを管理する

AWS 認証情報を追加および管理して、NetApp Consoleから AWS アカウント内のクラウド リソースを展開および管理できるようにします。複数の AWS Marketplace サブスクリプションを管理する場合は、[認証情報] ページから各サブスクリプションを異なる AWS 認証情報に割り当てることができます。

### 概要

AWS 認証情報を既存のコンソールエージェントに追加することも、コンソールに直接追加することもできます。

- 既存のエージェントにAWS認証情報を追加する

クラウド リソースを管理するには、コンソール エージェントに AWS 認証情報を追加します。[コンソールエージェントにAWS認証情報を追加する方法を学びます](#)。

- コンソールエージェントを作成するためにコンソールにAWS認証情報を追加する

コンソールに新しい AWS 認証情報を追加すると、コンソールエージェントを作成するために必要な権限が付与されます。[NetApp ConsoleにAWS認証情報を追加する方法を学びます](#)。

- FSx for ONTAPのコンソールに AWS 認証情報を追加する

FSx for ONTAPを作成および管理するには、コンソールに新しい AWS 認証情報を追加します。["FSx for ONTAPの権限を設定する方法を学びます"](#)

## 資格情報をローテーションする方法

NetApp Consoleを使用すると、エージェント インスタンスに関連付けられた IAM ロール、信頼できるアカウントでの IAM ロールの引き受け、または AWS アクセス キーの提供など、いくつかの方法で AWS 認証情報を提供できます。["AWS の認証情報と権限について詳しく見る"](#)。

最初の 2 つのオプションでは、コンソールは AWS セキュリティ トークン サービスを使用して、常にローテーションする一時的な認証情報を取得します。このプロセスは自動かつ安全であるため、ベストプラクティスです。

コンソールで更新して、AWS アクセスキーを手動でローテーションします。

## コンソールエージェントに追加の資格情報を追加する

コンソールエージェントに追加の AWS 認証情報を追加して、パブリッククラウド環境内のリソースとプロセスを管理するために必要な権限を付与します。別のアカウントの IAM ロールの ARN を提供するか、AWS アクセスキーを提供することができます。

["NetApp ConsoleがAWS認証情報と権限を使用する方法を学ぶ"](#)。

### 権限を付与する

コンソールエージェントに AWS 認証情報を追加する前に、権限を付与します。権限により、コンソールエージェントはその AWS アカウント内のリソースとプロセスを管理できるようになります。信頼できるアカウントのロールの ARN または AWS キーを使用して、アクセス許可を付与できます。



コンソールからコンソールエージェントを展開した場合、コンソールエージェントを展開したアカウントの AWS 認証情報が自動的に追加されます。これにより、リソースを管理するために必要な権限が確保されます。

### 選択肢

- [別のアカウントの IAM ロールを引き受けて権限を付与する](#)
- [AWSキーを提供して権限を付与する](#)

別のアカウントの **IAM** ロールを引き受けて権限を付与する

IAM ロールを使用して、コンソールエージェントをデプロイしたソース AWS アカウントと他の AWS アカウントの間に信頼関係を設定できます。次に、信頼できるアカウントの IAM ロールの ARN をコンソールに提供します。

コンソール エージェントがオンプレミスにインストールされている場合、この認証方法は使用できません。AWS キーを使用する必要があります。

#### 手順

1. コンソール エージェントに権限を付与するターゲット アカウントの IAM コンソールに移動します。
2. [アクセス管理] で、[ロール] > [ロールの作成] を選択し、手順に従ってロールを作成します。

必ず次のことを行ってください。

- \*信頼されたエンティティタイプ\*で、\*AWS アカウント\*を選択します。
- 別の **AWS** アカウント を選択し、コンソールエージェントインスタンスが存在するアカウントの ID を入力します。
- の内容をコピーして貼り付けて必要なポリシーを作成します。["コンソールエージェントのIAMポリシー"](#)。

3. 後でコンソールに貼り付けることができるように、IAM ロールのロール ARN をコピーします。

#### 結果

アカウントには必要な権限があります。[コンソールエージェントに資格情報を追加できるようになりました](#)。

#### AWSキーを提供して権限を付与する

コンソールに IAM ユーザーの AWS キーを提供する場合は、そのユーザーに必要な権限を付与する必要があります。コンソール IAM ポリシーは、コンソールが使用できる AWS アクションとリソースを定義します。

コンソール エージェントがオンプレミスにインストールされている場合は、この認証方法を使用する必要があります。IAM ロールは使用できません。

#### 手順

1. IAMコンソールから、以下の内容をコピーして貼り付けることでポリシーを作成します。["コンソールエージェントのIAMポリシー"](#)。

["AWSドキュメント: IAMポリシーの作成"](#)

2. ポリシーを IAM ロールまたは IAM ユーザーにアタッチします。

- ["AWSドキュメント: IAMロールの作成"](#)
- ["AWSドキュメント: IAMポリシーの追加と削除"](#)

#### 既存のエージェントに資格情報を追加する

AWS アカウントに必要な権限を付与したら、そのアカウントの認証情報を既存のエージェントに追加できます。これにより、同じエージェントを使用してそのアカウントでCloud Volumes ONTAPシステムを起動できるようになります。





クラウド プロバイダーの新しい資格情報が使用可能になるまでに数分かかる場合があります。

#### 手順

1. 上部のナビゲーション バーを使用して、資格情報を追加するコンソール エージェントを選択します。
2. 左側のナビゲーション バーで、管理 > 資格情報 を選択します。
3. \*組織の資格情報\* ページで、\*資格情報の追加\* を選択し、ウィザードの手順に従います。
  - a. 資格情報の場所: \*Amazon Web Services > エージェント\* を選択します。
  - b. 認証情報の定義: 信頼できる IAM ロールの ARN (Amazon リソース名) を指定するか、AWS アクセス キーとシークレットキーを入力します。
  - c. マーケットプレイス サブスクリプション: 今すぐサブスクライブするか、既存のサブスクリプションを選択して、マーケットプレイス サブスクリプションをこれらの資格情報に関連付けます。

時間単位の料金 (PAYGO) または年間契約でサービス料金を支払うには、AWS 認証情報を AWS Marketplace サブスクリプションに関連付ける必要があります。
  - d. 確認: 新しい資格情報の詳細を確認し、[追加] を選択します。

#### 結果

コンソールにサブスクリプションを追加するときに、[詳細と資格情報] ページから別の資格情報セットに切り替えることができるようになりました。

**Edit Credentials & Add Subscription**

Associate Subscription to Credentials ⓘ

Credentials

keys | Account ID: [redacted]

Instance Profile | Account ID: [redacted]

casaba QA subscription

+ Add Subscription

Apply Cancel

### コンソールエージェントを作成するためにコンソールに資格情報を追加します

コンソールエージェントの作成に必要な権限を付与する IAM ロールの ARN を指定して、AWS 認証情報を追加します。新しいエージェントを作成するときに、これらの資格情報を選択できます。

## IAMロールを設定する

NetApp Consoleのソフトウェア サービス (SaaS) レイヤーがロールを引き受けることができる IAM ロールを設定します。

### 手順

1. ターゲットアカウントの IAM コンソールに移動します。
2. [アクセス管理] で、[ロール]>[ロールの作成] を選択し、手順に従ってロールを作成します。

必ず次のことを行ってください。

- \*信頼されたエンティティタイプ\*で、\*AWS アカウント\*を選択します。
- \*別のAWSアカウント\*を選択し、 NetApp ConsoleSaaSのIDを入力します：952013314444
- 特にAmazon FSx for NetApp ONTAPの場合は、信頼関係 ポリシーを編集して "AWS": "arn:aws:iam::952013314444:root" を含めます。

たとえば、ポリシーは次のようになります。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Principal": {
        "AWS": "arn:aws:iam::952013314444:root",
        "Service": "ec2.amazonaws.com"
      },
      "Action": "sts:AssumeRole"
    }
  ]
}
```

+

参照["AWS Identity and Access Management \(IAM\) ドキュメント"](#) IAM でのクロスアカウント リソース アクセスの詳細については、こちらをご覧ください。

- コンソール エージェントを作成するために必要な権限を含むポリシーを作成します。
    - ["FSx for ONTAPに必要な権限を表示する"](#)
    - ["エージェント展開ポリシーを表示する"](#)
3. 次のステップでコンソールに貼り付けることができるように、IAM ロールのロール ARN をコピーします。

### 結果

IAM ロールに必要な権限が付与されました。 [コンソールに追加できるようになりました。](#)

資格情報を追加する

IAM ロールに必要な権限を付与したら、ロール ARN をコンソールに追加します。

開始する前に

IAM ロールを作成したばかりの場合は、使用できるようになるまでに数分かかることがあります。資格情報をコンソールに追加する前に、数分お待ちください。

手順

1. \*管理 > 資格情報\*を選択します。



2. \*組織の資格情報\*ページで、\*資格情報の追加\*を選択し、ウィザードの手順に従います。
  - a. 認証情報の場所: **Amazon Web Services > コンソール** を選択します。
  - b. 認証情報の定義: IAM ロールの ARN (Amazon リソース名) を指定します。
  - c. 確認: 新しい資格情報の詳細を確認し、[追加] を選択します。

## Amazon FSx for ONTAPのコンソールに認証情報を追加する

詳細については、"[Amazon FSx for ONTAPのコンソールドキュメント](#)"

## AWSサブスクリプションを設定する

AWS 認証情報を追加したら、その認証情報を使用して AWS Marketplace サブスクリプションを設定できます。サブスクリプションを使用すると、NetAppデータ サービスとCloud Volumes ONTAPの料金を時間単位 (PAYGO) または年間契約で支払うことができます。

認証情報を追加した後に AWS Marketplace サブスクリプションを構成するシナリオは 2 つあります。

- 資格情報を最初に追加したときに、サブスクリプションを構成しませんでした。
- AWS 認証情報に設定されている AWS Marketplace サブスクリプションを変更します。

現在のマーケットプレイス サブスクリプションを新しいサブスクリプションに置き換えると、既存のCloud Volumes ONTAPシステムとすべての新しいシステムのマーケットプレイス サブスクリプションが変更されます。

開始する前に

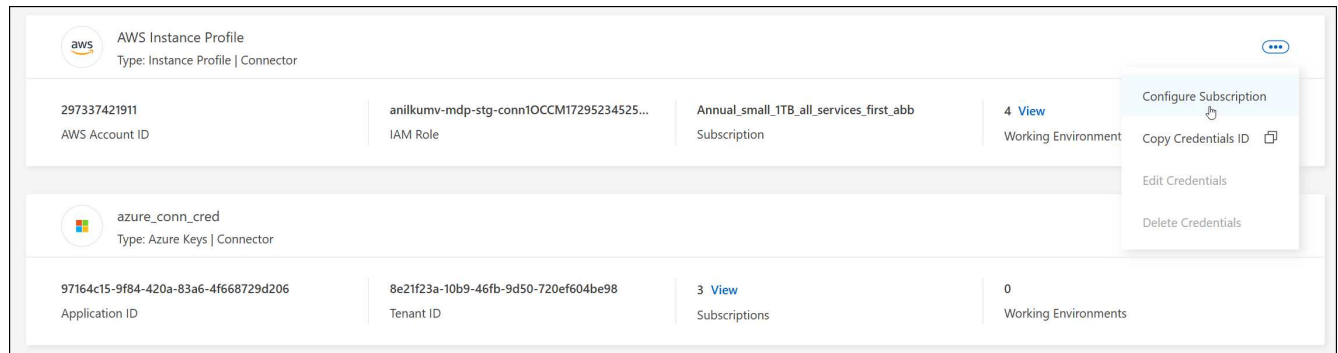
サブスクリプションを構成する前に、コンソール エージェントを作成する必要があります。"[コンソールエージェントの作成方法を学ぶ](#)"。

手順

1. \*管理 > 資格情報\*を選択します。
2. \*組織の資格情報\*を選択します。
3. コンソール エージェントに関連付けられている資格情報のセットのアクション メニューを選択し、[サブ

スクリプションの構成] を選択します。

コンソール エージェントに関連付けられている資格情報を選択する必要があります。マーケットプレイスサブスクリプションを、 NetApp Consoleに関連付けられている資格情報に関連付けることはできません。



4. 資格情報を既存のサブスクリプションに関連付けるには、ドロップダウン リストからサブスクリプションを選択し、[構成] を選択します。
5. 認証情報を新しいサブスクリプションに関連付けるには、[サブスクリプションの追加] > [続行] を選択し、AWS Marketplace の手順に従います。
  - a. \*購入オプションを表示\*を選択します。
  - b. \*購読\*を選択します。
  - c. \*アカウントを設定\*を選択します。

NetApp Consoleにリダイレクトされます。

- d. \*サブスクリプションの割り当て\*ページから:
  - このサブスクリプションに関連付けるコンソール組織またはアカウントを選択します。
  - 既存のサブスクリプションを置き換える フィールドで、1 つの組織またはアカウントの既存のサブスクリプションをこの新しいサブスクリプションに自動的に置き換えるかどうかを選択します。

コンソールは、組織またはアカウント内のすべての資格情報の既存のサブスクリプションをこの新しいサブスクリプションに置き換えます。資格情報のセットがサブスクリプションに関連付けられたことがない場合、この新しいサブスクリプションはそれらの資格情報に関連付けられません。

他のすべての組織またはアカウントについては、これらの手順を繰り返して、サブスクリプションを手動で関連付ける必要があります。

- \*保存\*を選択します。

## 既存のサブスクリプションを組織に関連付ける

AWS Marketplace からサブスクライブする場合、プロセスの最後のステップは、サブスクリプションを組織に関連付けることです。この手順を完了しなかった場合、組織でサブスクリプションを使用することはできません。

- ["コンソールの展開モードについて学ぶ"](#)
- ["コンソールのIDとアクセス管理について学ぶ"](#)

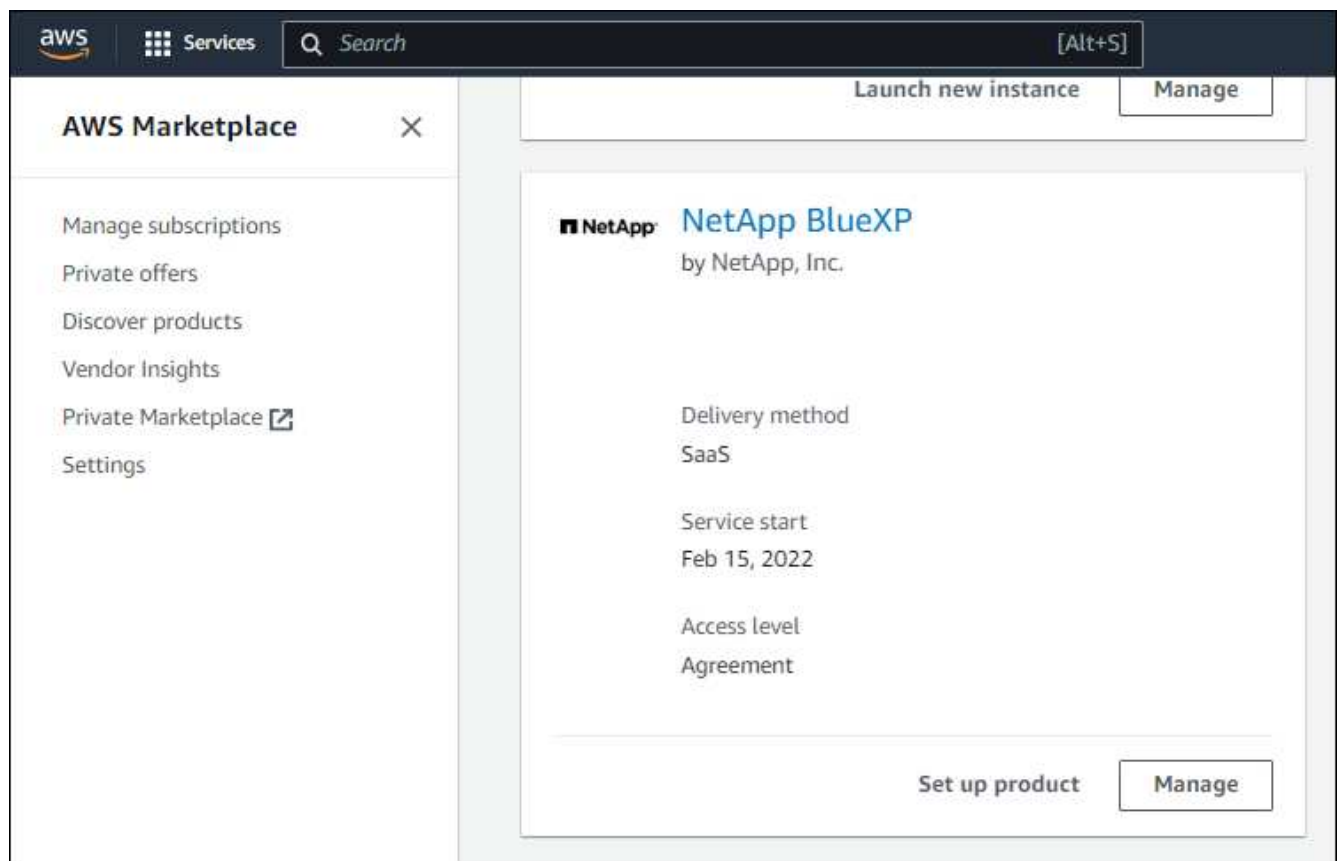
AWS Marketplace からNetApp Intelligent Servicesにサブスクライブしたが、サブスクリプションをアカウントに関連付ける手順を忘れた場合は、以下の手順に従ってください。

#### 手順

1. サブスクリプションをコンソール組織に関連付けていないことを確認します。
  - a. ナビゲーション メニューから、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
  - b. \*サブスクリプション\*を選択します。
  - c. サブスクリプションが表示されていないことを確認します。

現在表示している組織またはアカウントに関連付けられているサブスクリプションのみが表示されます。サブスクリプションが表示されない場合は、次の手順に進みます。

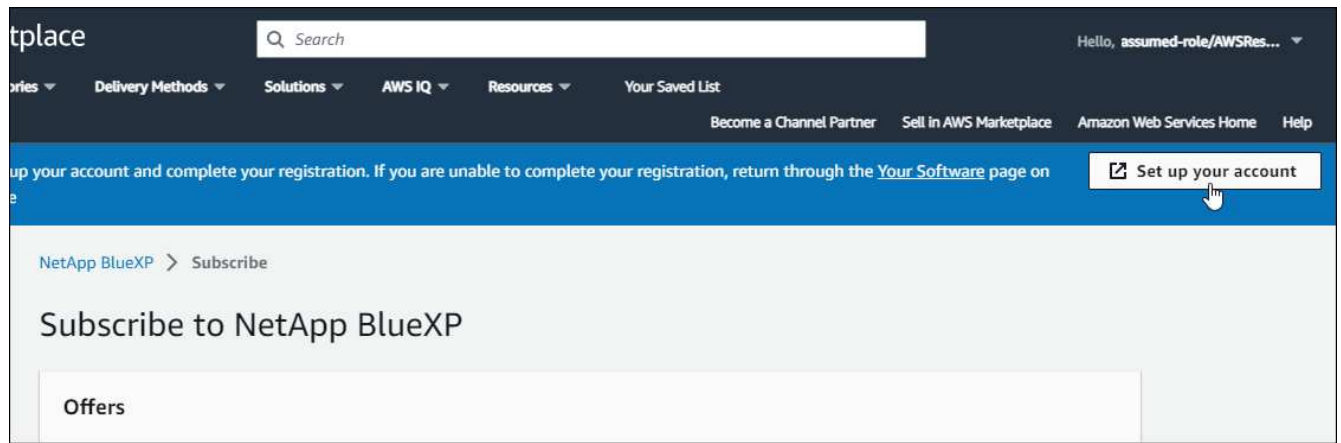
2. AWS コンソールにログインし、\*AWS Marketplace サブスクリプション\*に移動します。
3. サブスクリプションを見つけます。



4. \*製品のセットアップ\*を選択します。

サブスクリプション オファー ページは、新しいブラウザ タブまたはウィンドウに読み込まれます。

5. \*アカウントを設定\*を選択します。



netapp.com の サブスクリプションの割り当て ページが新しいブラウザ タブまたはウィンドウに読み込まれます。

最初にコンソールにログインするように求められる場合があります。

6. \*サブスクリプションの割り当て\*ページから:

- このサブスクリプションを関連付けるコンソール組織またはアカウントを選択します。
- 既存のサブスクリプションを置き換える フィールドで、1 つの組織またはアカウントの既存のサブスクリプションをこの新しいサブスクリプションに自動的に置き換えるかどうかを選択します。

コンソールは、組織またはアカウント内のすべての資格情報の既存のサブスクリプションをこの新しいサブスクリプションに置き換えます。資格情報のセットがサブスクリプションに関連付けられたことがない場合、この新しいサブスクリプションはそれらの資格情報に関連付けられません。

他のすべての組織またはアカウントについては、これらの手順を繰り返して、サブスクリプションを手動で関連付ける必要があります。

### Subscription Assignment

✓

Your subscription to BlueXP / Cloud Volumes ONTAP from the AWS Marketplace was created successfully.

Subscription name

PayAsYouGo

Select the NetApp accounts that you'd like to associate this subscription with.

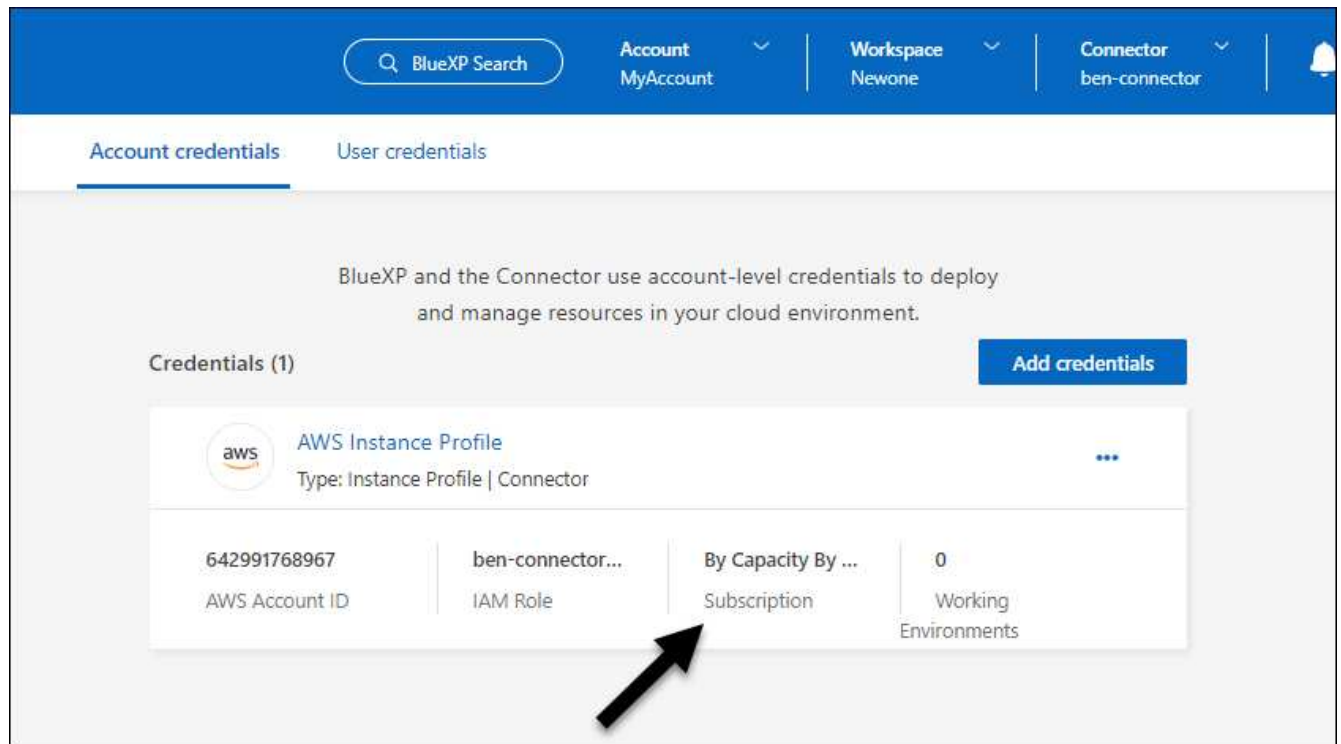
You can automatically replace the existing subscription for one account with this new subscription.

NetApp account	Replace existing subscription
<input checked="" type="checkbox"/> cloudTiering_undefined	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> CS-HhewH	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> benAccount	<input checked="" type="checkbox"/>

Save

7. サブスクリプションが組織に関連付けられていることを確認します。
  - a. ナビゲーション メニューから、\*管理 > ライセンスとサブスクリプション\*を選択します。
  - b. \*サブスクリプション\*を選択します。
  - c. サブスクリプションが表示されていることを確認します。
8. サブスクリプションが AWS 認証情報に関連付けられていることを確認します。
  - a. \*管理 > 資格情報\*を選択します。
  - b. \*組織の認証情報\*ページで、サブスクリプションが AWS 認証情報に関連付けられていることを確認します。

ここに例があります。



## 資格情報を編集する

アカウントの種類 (AWS キーまたはロールの引き受け) を変更したり、名前を編集したり、認証情報自体 (キーまたはロール ARN) を更新したりして、AWS 認証情報を編集します。



コンソールエージェントインスタンスまたはAmazon FSx for ONTAPインスタンスに関連付けられているインスタンスプロファイルの認証情報を編集することはできません。FSx for ONTAPインスタンスの資格情報の名前のみを変更できます。

### 手順

1. \*管理 > 資格情報\*を選択します。
2. \*組織の資格情報\*ページで、資格情報セットのアクション メニューを選択し、\*資格情報の編集\*を選択します。
3. 必要な変更を加えて、[適用] を選択します。

## 資格情報を削除する

資格情報セットが不要になった場合は、削除できます。システムに関連付けられていない資格情報のみを削除できます。



コンソール エージェントに関連付けられているインスタンス プロファイルの資格情報を削除することはできません。

### 手順

1. \*管理 > 資格情報\*を選択します。
2. 組織の資格情報 または アカウントの資格情報 ページで、資格情報セットのアクション メニューを選択



し、資格情報の削除 を選択します。

3. \*削除\*を選択して確認します。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。